



ペリー著『まんがサイコセラピーのお話』の  
ご紹介  
国大 16回 清水めぐみ

本書は、2010年にイギリスで出版されました。著者のフィリッパ・ペリーは、英国の心理療法家です。彼女はこの本について、The Observer紙のインタビューで「30年前の自分が読みたかった本」と述べています。いわゆるまんがスタイルで、サイコセラピー≡心理療法≡カウンセリングのクライアントとセラピストとの間で繰り広げられる展開を架空事例に沿って描出しており、扉の向こうの世界で何が起きているのかという興味関心をくすぐる内容です。

ひと頃に比べると、日本においてもカウンセリングは一般的になってきましたが、「話を聴いてもらってスッキリする」

## まんが サイコセラピーのお話

出版社	金剛出版
著者	P.ペリー 物語 J.グラート 絵
監修	鈴木 龍
翻訳	酒井 祥子 清水 めぐみ
出版年月日	2013/4/22
ISBN	9784772413107
判型・ページ数	B5 変・155 ページ
定価	2,640 円(税込)
在庫なし	2023年早春に改訂版が出版予定。

「アドバイスをもらえる」「問題が解決する」という期待はまだまだ大きいようです。実際には、思わぬ気持ちの揺れがあったり、自分に向き合うこととなつて、見たくはなかつた自分のありようを見ることになったり、となかなか一筋縄ではいかない、苦しい体験があります。そういったことを、カウンセリングに興味をお持ちの方々に伝えたいと思って訳出しました。

現地でもたいへん好評で、2020年には著者の娘であるフロ・ペリーのイラストで新たに Penguin Books から改訂版が出版されました。同書の日本版は、2023年早春に出版される予定です。